

使用中の注意 ●安全に長くお使いいただくために大切な内容です。必ずお読みください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。	 注意	誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。
 禁止	●器具の真下に熱源を置かない 本器具の真下に暖房器具などの熱源を置かないでください。変形・変色・火災の原因になります。	 必ず実施	●清掃の際は必ず電源アダプターを抜く 電源を抜かないと、高温のためにやけど、また感電や破損のおそれがあります。
	●破損した器具を使用しない 本器具が破損した状態で使用しないでください。速やかに電源を抜き、アイリスコールに相談してください。そのまま使用続けると感電・火災・落下・けがの原因になります。		●定期的に点検する 3年に1回は専門家（工事店・電気店）による点検を実施してください。設置して8～10年※経つと、外観に異常がなくても劣化は進行します。点検せずに長時間使用続けると、まれに発煙・発火・感電などの原因になります。 ※使用条件：周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯した場合。（JIS C8105-1解説による）
	●器具のすき間に金属や可燃物などを差し込まない。 電源コードを金属ピンで壁などにとめない 火災や感電の原因になります。		 禁止 ●光を直視しない 目を痛めることがありますので、点灯中に直視しないでください。

LED照明について知っていただきたいこと	お手入れ方法
●ラジオ、ワイヤレス機器は、なるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、誤動作したりする場合があります。 ●LED照明は、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。 ●照射距離が近い場合、光むらが発生する場合があります。	明るく安全に使用するため、以下の方法で定期的に清掃してください。 ●清掃する際は必ず電源アダプターを抜き、器具が冷えたことを確認してから行ってください。 ●清掃には、水または薄めた中性洗剤に浸した柔らかい布をよく絞って使用してください。そのあと洗剤が残らないように水拭きしてください。 ●シンナー、ベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。破損、変色の原因になります。

故障かな？と思ったときは ●使用中に異常が生じた場合は、本書をよくお読みのうえ下記の点を確認してください。

状 態	考えられる原因	処 置
〔点灯〕しない	●電源アダプターを接続していない	●電源アダプターをコンセントに接続してください。
	●センサーが反応していない	●センサーに手をかざしてください。
〔調光〕しない	●手をかざしている時間が短い	●センサーの前で手の指を閉じて静止させてください。一瞬だけでは〔点灯〕・〔消灯〕になることがあります。センサーまでの距離は2cm程度を目安にしてください。
	●センサーまでの距離が遠すぎる	
明るさが勝手に変化したり不安定になる または〔点灯〕・〔消灯〕をくりかえす	●センサーの近くに物を置いている	●センサーからの距離をおよそ20cm以上に遠ざけてください。（「取り付け場所の注意」も確認してください。）
	●センサーの近くを横切るものがある	●センサー前を横切る物を除いてください。
	●センサー部が汚れている	●センサーを中性洗剤の薄め液を含む布で拭き掃除してください。（「お手入れについて」参照）

主な仕様						
品番	IBA9D-W	IBA9L-W	IBA6D-W	IBA6L-W	IBA3D-W	IBA3L-W
光色	昼光色	電球色	昼光色	電球色	昼光色	電球色
器具光束 (lm)	1340	1200	900	800	440	400
定格消費電力 (W)	14.5		9.4		4.7	
待機時消費電力(W)	0.5以下		0.5以下		0.5以下	
本体外形寸法 (mm)	本体寸法図に記載		本体寸法図に記載		本体寸法図に記載	
質量 (kg)	0.25(電源アダプター含む)		0.2 (電源アダプター含む)		0.15(電源アダプター含む)	
共通仕様						
タッチレス感知距離	約2cm以内		配光角		120度	
電源コード長さ	約2m		LEDモジュール設計寿命		40,000時間※	
●使用環境：屋内 ●日本国内専用 ●定格電源電圧：AC100V ●定格電源周波数：50／60Hz ●演色性：Ra82						
※LEDモジュールの設計寿命は、LEDが点灯しなくなるか、初期光束の70%に低下するまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。製品の寿命を保証するものではありません。						
●商品の仕様は予告なく変更することがあります。						



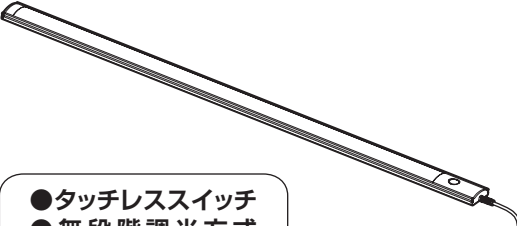
LEDバーライト タッチレススイッチ

屋内用

IBA9D-W / IBA9L-W

IBA6D-W / IBA6L-W

IBA3D-W / IBA3L-W



●タッチレススイッチ
●無段階調光方式

この取扱説明書には取り付け方やお手入れの方法など、ご使用にあたり重要な事柄が記載されています。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

安全上の注意	ここに示した注意は、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。 いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。		
図記号の意味	 注意を促す記号	 してはいけない 〔禁止〕内容	 しなければならない 〔指示〕内容

取り付けについての注意

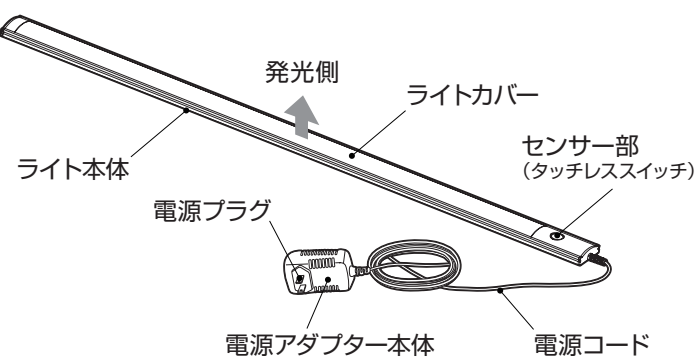
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。		
 可燃物	●可燃物を近づけない 布や紙などの可燃物で覆ったり燃えやすいものに近づけないでください。また、可燃性ドアの開閉範囲や家具などの近くに取り付けしないでください。変形・変色・火災の原因になります。	 必ず実施	●設置場所を必ず守る 取り付け可能な場所以外や、強度が低い場所・不安定な場所に取り付けると、故障や火災の原因になります。 〔（取り付け場所について）をお読みください〕
	●分解・修理・改造や塗装はしない 本器具の落下・感電・火災の原因になります。 取り付け以外の分解・修理・改造・塗装はしないでください。		●必ず定格電圧で使用する 本器具は日本国内の交流100V専用です。それ以外の電圧で使用した場合、LEDチップの短寿命や火災の原因になります。 〔使用電圧範囲：AC100V ±6%〕
 禁止	●特殊なガスや粉塵の空間、さびが出やすい場所 振動のある場所には取り付けない さびによる器具劣化や破損の原因になります。また振動により落下のおそれがあるので取り付けしないでください。	 禁止	●電源コードを家具などではさまない 電源コードを家具などの硬いものではさんだりつぶしたりすると、電線が破損して火災の原因になることがあります。
	●湿気の多い場所や水しぶきがかかる場所には取り付けない 屋内の湿度10～85%の範囲で使用してください。屋外では使用しないでください。絶縁不良による漏電や感電の原因になります。		●点灯異常を感じたら電源アダプターを抜く 異常を感じたときは速やかに電源アダプターを抜いてください。そのまま使用続けると感電・火災・落下・けがの原因になります。
	●高温の器具のそばや真上に取り付けけない 本体内部の温度が上昇し、変形・発煙・発火の原因になることがあります。		

 注意	誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。		
 禁止	●油煙や粉塵が多い場所には取り付けない 本器具は一般屋内での使用を目的とした製品です。油煙や粉塵が多い環境では、センサーが誤作動したり、内部に油や異物が侵入したりして故障の原因になります。	 必ず実施	●ライトの取り外しは冷えてから行う 必ずライトが冷えたことを確認してから取り外してください。やけどのおそれがあります。
	●過度な高温になる環境には取り付けない 著しく高温の環境で使用すると故障の原因になります。おおよそ5～30℃の環境で使用してください。		●運搬の際は本体と電源アダプターを持つ 電源コードを持ったまま電源アダプターをぶら下げると、断線など故障の原因になります。

各部の名称と寸法

●説明図は一部の形状を省略しています。
●不足している部品がある場合には、お買上げ店またはアイリスコールまでご連絡ください。

屋内用 棚下／壁面兼用



■付属品

ホルダー

天井／垂直面 兼用

斜め用 (約45度の傾斜があります)



2 個



2 個

木ねじ



4本

磁石



2個

両面テープ



IBA9D-W／IBA9L-W：5枚
IBA6D-W／IBA6L-W：4枚
IBA3D-W／IBA3L-W：3枚

使用工具 プラスドライバー

(木ねじを使用する場合)



■本体寸法図

単位：mm



品番	L	品番	L	品番	L
IBA9D-W	900	IBA6D-W	600	IBA3D-W	300
IBA9L-W		IBA6L-W		IBA3L-W	

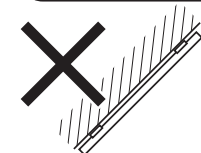
取り付け場所の注意

●安全と性能確保のため下記の注意を必ず守ってください。

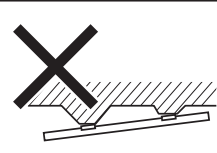
- 照射距離が近いと、被照射物が変色や変質をするおそれがあります。おおむね20cm以上離してください。
- 必ず器具の重さに耐えられる強度がある、平らな天井面、棚板下部、壁に取り付けてください。
- 器具の性能と寿命を確保するため、設置場所は十分検討のうえ決定してください。

■次のような場所には取り付けないでください。

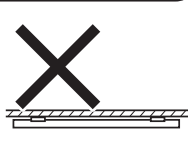
火災・感電・落下による破損やけが発生のおそれがあります



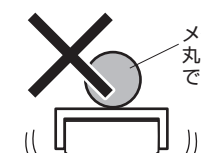
傾斜のある場所に縦に取り付け



取り付け面に大きな凹凸があり均等に接しない場所



補強のない薄い取り付け場所



不安定な場所



注意

センサーについて

- 通電中はセンサー部から弱い赤外線が放出されています。センサー部の近くに物があると、赤外線が反射し受信部が感知してライトが「点灯」や「消灯」をすることがあります。
- 近くに物がありランプの点灯が安定しないときは、センサー部から物を遠ざけてください。おおむね20cm程度離すことをおすすめします。

センサーが誤って感知することがあります



センサー部の近くに物がある場所



湯気や煙などがある場所

(器具の寿命に影響します)

取り付け方について

●取付方法を [B] で行うときは、下記の注意を必ず考慮して取り付けてください。

本製品は設置する場所に応じて、以下の取り付け方ができます。以降の説明にあるいずれかの方法で取り付けてください。

A 付属のホルダーを使用して取り付ける

- 木ねじによりホルダーを固定する
・よこ向きの取り付け ・たて向きの取り付け
- 磁石によりホルダーを固定する (鉄質面などへの取り付け)

B ライト本体を直接取り付ける

- 両面テープにより本体を直接固定する方法

※両面テープによる取り付けは、使用環境により剥がれることがありますので、ホルダーを使用した取り付け方法をおすすめします。



両面テープ使用に対する注意

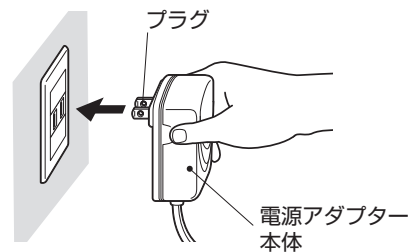
両面テープによる固定は、一般に固定する面の表面形状、汚れ、劣化度合い、環境条件 (温度・湿度) 等により、十分な固定力が得られないことがあります。これらが要因で発生する製品落下によるけがや、器物の破損、財産への被害が生じないように、下記の内容に十分注意のうえ作業を行なってください。

- 天井面や高所への取り付けはしない。(落下のおそれがある)
- 壁紙で凹凸のある面、汚れ防止機能のある面への取り付けはしない。(固定力が低下する)
- 取り外しの際に、壁紙や塗装面がはがれ落ちるおそれがある面への取り付けはしない。

使いかた

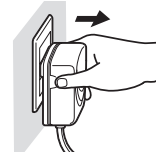
■電源アダプターのプラグをコンセントに接続する

電源アダプターの本体を持って、プラグを壁コンセントに差し込んでください。通電するとすぐにランプが点灯します。ライトが明るすぎるときは、下記の「タッチレススイッチの使いかた」の方法で明るさを調節してください。



電源は日本国内一般家庭用、交流100Vコンセントのみが使用可能です。

電源アダプターを抜くときは、必ず本体を持って引き抜いてください。



！ センサーの待機電力について

本照明器具は、電源アダプターを接続している間、センサーが待機状態になるためわずかな電力を消費します。完全に電源を切るには、電源アダプターをコンセントから抜いてください。

タッチレススイッチの使いかた

■「点灯」・「消灯」の切り替え

電源アダプターを接続した状態で、センサー部に手をかざしてください。センサーが感知すると、「点灯」・「消灯」を交互に切り替ええます。センサー部までの距離はおおむね2cm以内を目安にしてください。

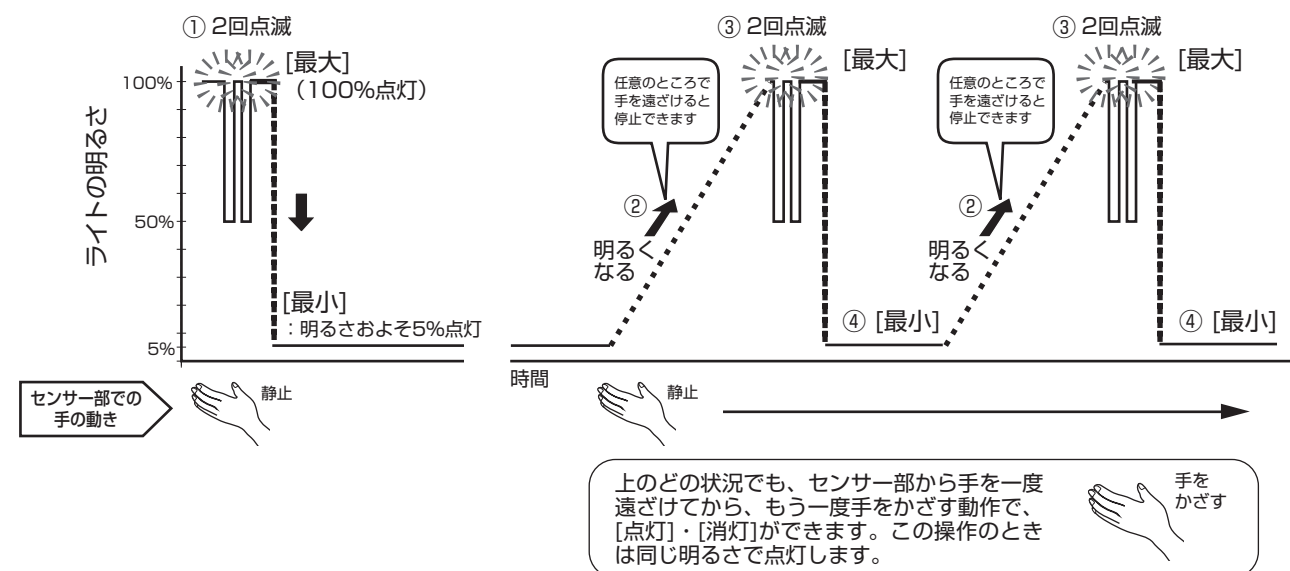
- ※1 手をかざしている (静止) 時間が長いと下記の「調光」動作になります。
- ※2 センサーで点灯させると、前に消灯した時の明るさで点灯します。
- ※3 電源アダプターを抜くなど通電を切ると、次回点灯時は100%の明るさで点灯します。

■「調光」のしかた

ライトが点灯した状態でセンサー部で手を静止させると、明るさを調節できます。以下の手順で調光の操作をしてください。

- ① 点灯状態でセンサー部で手を静止させると、2回点滅したあと最小の明るさになります。
- ② 次にセンサー部に手をかざしている (静止している) 間、しだいに明るくなります。途中任意の明るさで手を遠ざけると、そのときの明るさを保ちます。
- ③ ②で手をかざし続けると最大の明るさまで変化し、2回点滅をして知らせます。
- ④ 2回点滅後も手をかざし続けると、再び最小の明るさになります。(以降②からくりかえしの動作をします)

- ※1 希望の明るさにできなかったときは、④→②→③をくりかえして、希望の明るさのところまで手を遠ざけてください。
- ※2 上記のどの状態でもセンサー部に手をかざすと、「点灯」・「消灯」のくりかえしができます。



センサー部での手の動き



静止



静止

上のどの状況でも、センサー部から手を一度遠ざけてから、もう一度手をかざす動作で、「点灯」・「消灯」ができます。この操作のときは同じ明るさで点灯します。



手をかざす

●タッチレススイッチについて

本製品に搭載されているタッチレススイッチ (センサー) は、感知エリア内の人や物に反応して作動します。センサー部が著しく汚れている場合にも反応します。また設置されている環境によっては、温度変化によって作動することもあります。勝手に明るさが変化したり、「点灯」・「消灯」をくりかえしたりする場合は、センサー部近くの物を移動したり、センサー部に汚れが付着していないかを確認してください。詳しくは「故障かな?と思ったときは」をご覧ください。

A 付属のホルダーを使用して取り付ける

使用するホルダーとライトの向きをよく確認して取り付けてください。

木ねじによるホルダー取り付け

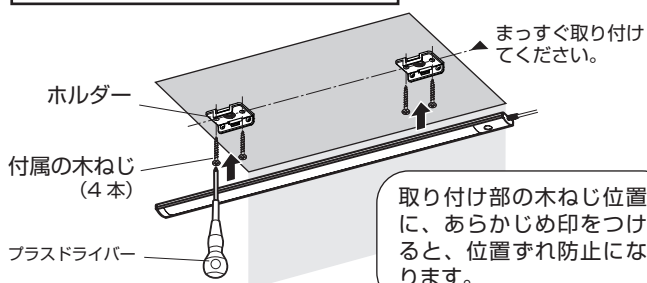
木質面への基本取り付け例

■よこ向き取り付け（一般的な取り付け）

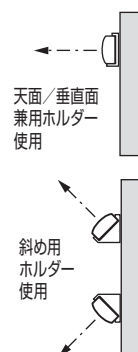
木質の天面または垂直面（壁面）パネルに、付属のホルダーと木ねじを使用して、ライトの向きを決めてから固定してください。

- ※ホルダーの形状にかかわらず、基本的な取り付け方は同じです。
- ※ホルダーの向きは、ライト横向き・斜め上／下向きにも取り付けできます。

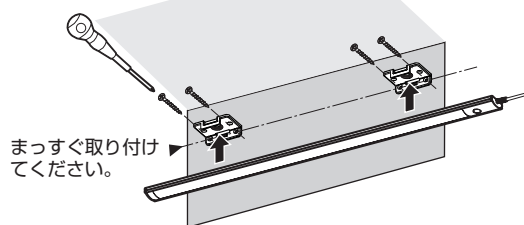
天面への取り付け例（ライト下向き）



【その他の取り付け例】



垂直面への取り付け例（ライト下向き）



付属品：ホルダー



⚠ 木ねじ使用上の注意

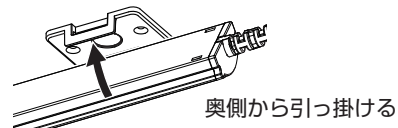
- 付属の木ねじは木質パネル専用です。石膏ボードなど一部のパネルで固定が弱いときは、市販のアンカーを使用してください。
- 二つのホルダーは同一面にまっすぐ取り付けてください。取り付けが曲がっていたり段差のある面に取り付けると、ライト本体が装着できないことがあります。

ホルダーへの装着方法と注意

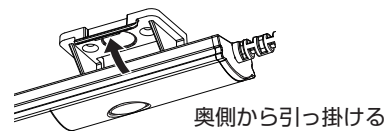
側面のみぞにホルダーを確実に取り付けてください。正しくないと、使用中に落下して破損するおそれがあります。



●ホルダー（天面／垂直面用）の例



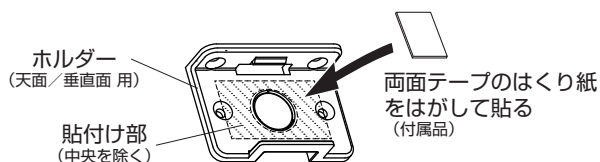
●ホルダー（斜め用）の例



■たて向き取り付け

壁などにホルダーと両面テープを使用して、たて向きに取り付けてください。

- ※ホルダーは「天面／垂直面用」を使用してください。
- ※磁石で取り付けるときは、磁石をホルダーに押し込んだあとに両面テープを貼り、後述の「磁石によるホルダー取り付け」の手順にしたがって取り付けを行ってください。



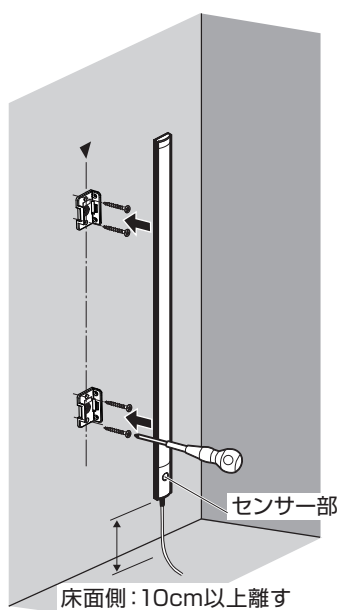
＜木ねじで取り付けるとき＞

- ①ホルダー側のライト本体が密着する部分（おおむね図の点線の範囲：中央部を除く）に、付属の両面テープを貼り付けてください。
- ②付属の木ねじで、ホルダーを設置する場所に、たて方向にまっすぐ取り付けてください。
- ③ホルダーに貼った両面テープのはくり紙をはがして、ライト本体を装着してください。
- ④電源コードをていねいに配置してください。

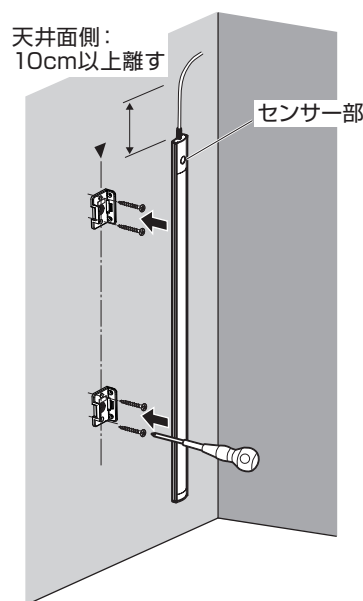
⚠ たて向き取り付け時の注意

- ホルダーは「斜め用」を使用しないでください。ライト本体が落下するおそれがあります。
- 両面テープは、ホルダーのできるだけ平らな部分に貼ってください。ライト本体が密着しにくくなります。
- 本体の電源コード側を、床面や天井面に強く押しつけて取り付けをしないでください。故障の原因になります。本体は床面や天井面からおおよそ10cm以上離して取り付けてください。
- クローゼットの内壁などに取付けたときは、電源コードを扉や収納物などで挟み込まないようにしてください。故障の原因になります。

センサー部が下方位置



センサー部が上方位置



電源コードの断線を防ぐため、本体の電源コード側は床面や天井面から、おおよそ10cm以上離して取り付けてください。

ホルダーを磁石で取り付けるときは、「磁石によるホルダー取り付け」にしたがい作業してください。

A 付属のホルダーを使用して取り付ける (つづき)

磁石によるホルダー取り付け

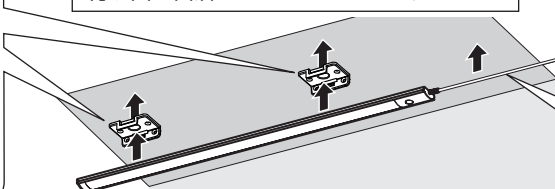
鉄質面への基本取り付け例

付属の磁石を図の正しい向きで、ホルダー丸穴の奥までしっかり押し込み、ホルダーごと鉄質の天面や垂直面（壁）、またはラックに密着させてください。

※磁石は一度ホルダーに入れたあとに取り外すと、はめ合いがゆるくなる場合がありますが、ライト本体の固定に支障はありません。

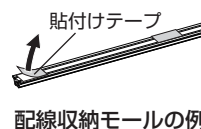


ライト本体にホルダーを装着してから取り付け面に密着させることもできます。



電源コードはより安全のために、市販の留め具などで固定することをおすすめします。

＜市販のものをお求めください＞



B 付属のホルダーを使わずにライト本体を直接取り付ける

両面テープによる簡易取り付け

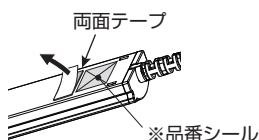
ライト本体を直接固定する

本製品の取り付けには、付属ホルダーの使用をおすすめしますが、付属の両面テープを使用して、簡易的に取り付けることができます。

両面テープ貼り付け手順

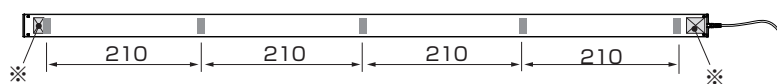
①付属の両面テープ片面のはくり紙をはがし、製品サイズに応じた枚数を製品本体の裏面に貼り付けてください。

※品番シール位置には貼らないでください。

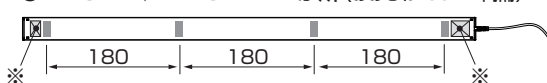


②残りののはくり紙をはがして、製品本体の縁を持ちながら、設置面にしっかり押し付けてください。

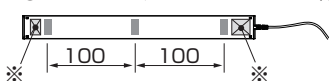
●IBA9D-W／IBA9L-W：5か所（おおむね210mm間隔）



●IBA6D-W／IBA6L-W：4か所（おおむね180mm間隔）

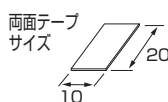


●IBA3D-W／IBA3L-W：3か所（おおむね100mm間隔）



付属品：両面テープ枚数

IBA9D-W／IBA9L-W：5枚
IBA6D-W／IBA6L-W：4枚
IBA3D-W／IBA3L-W：3枚



両面テープ使用上の注意

- ライト本体や固定する面に油分などが付着しているときは、ワックス成分を含まないクリーナーを使っていないに拭き取り、から拭きをしてよく乾燥させてから、両面テープを貼り付けてください。
- 製品を固定する前に、両面テープ自体で十分に固定できることを確認してください。
- 固定面のコーティングや皮膜などを、傷つけるおそれがある場所には使用しないでください。
- 両面テープの固定力が安定するまで、無理な力を加えないでください。およそ24時間以上経過したあとで、電源コードの引き回しなどを行なってください。

※上記の注意は、両面テープによる固定品質を保証するものではありません。

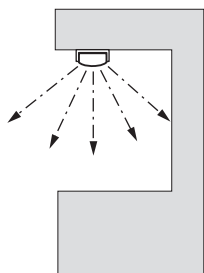


- 貼り付けるときに、ライトカバー部分を強く押し付けしないでください。
- 両面テープによる固定が難しいときは、付属ホルダーによる取り付けをおすすめします。

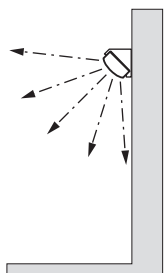
設置場所の例

- 使用するシーンに合わせて、自由にレイアウトしてください。
- 取り付けにあたっては、周囲の温度による照明器具の発熱に影響のないことを確認してください。

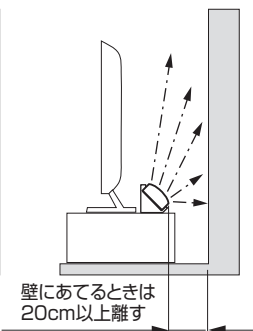
キッチンまわりのあかり



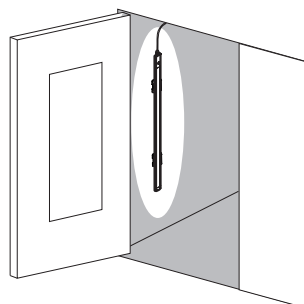
壁ぎわの彩光



間接照明



クローゼット内の照明



注意

壁紙などへLEDライトのあかりを長期間あて続けると、まれに変色などが発生することがあります。十分注意してください。